

第二十回「草子平家琵琶の夕べ」のご案内

ふるさと坪沼実行委員会主催

七月五日(土)午後六時過ぎより神社境内で開催されます。実行委員会も組織が再編成され、活性化してふるさと造りに邁進しております。また子供たちも祭囃子や手作りの行灯で参加しておりますし、模擬店や露天も多数出店されますので、どうぞお越しください。もうすつかり定着したイベントとなり、近郊から家族連れなどたくさんの方がいらしております。

最近自然豊かな草の生息地として、環境整備への取り組みもはじまりました。

「坪沼農園」講習会場として神社施設利用

やるつちやツボヌマ主催

坪沼振興会を母体とする地域振興事業の一つとして、神社近くの畑を借用して指導型農園とレクレーション農園を開設しております。月一回・土曜日には社務所を講習会の会場として、使用料をいただいで利用してもらっております。神社が地元と都市部の人たちの交流の場となれば幸いです。お参りの際に、参加者を見かけたらお声を掛けてみてください。

坪沼の歴史伝説勉強会開催のご案内

日時：六月二十九日(日)午後一時

場所：神社社務所

坪沼には各所に史跡があり、伝説や昔話など古いものがたくさん残っております。坪沼ウォーキングや史跡めぐりなどを行いますと地域以外から随分来られ、とくに中世のロマンを感じて坪沼のファンになる方がたくさんおられます。

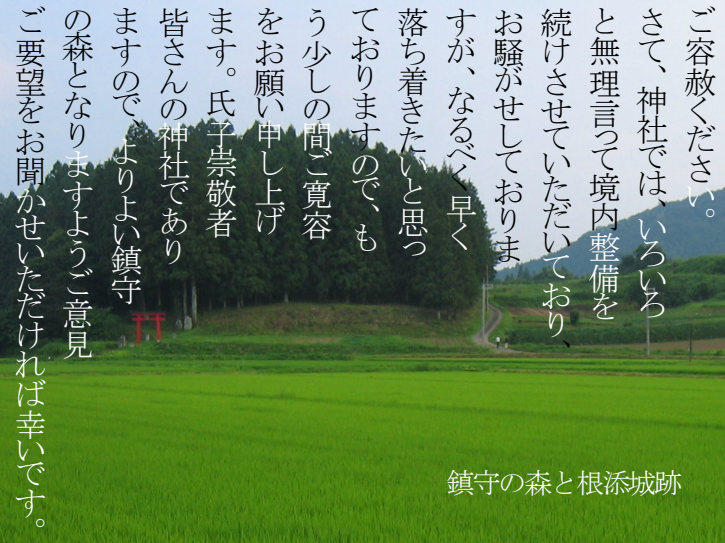
しかし地元ではあまり知られていないところも多く、この度の財産を伝え残すためにも坪沼の方々を対象として勉強会を始めたいと思います。先ずはその導入口として、坪沼の歴史で最も古い神社と、神社にゆかり深い「前九年の役」をはじめ根添城や中世の頃を勉強します。

講師には茂庭の菅原勝行さんをお招きして坪沼の総合的な歴史についてお話をいただきます。坪沼の昔に興味のある方、またそういった話や歴史に詳しい方、言い伝えなど何でも結構ですので、古いことをご存知でお伝えくださる方、どなたでもご参加いただけます。先祖から受け継いできたものを変わず次代へ残すということは今に生きる我々の大切な使命なのです。

編集後記

第五号をよつやく発行して、皆さんのご家庭にお届けさせていた

だくことになりました。楽しく読みやすく工夫したいと思いつておりました。このたびは報告記事ばかりになつてしまいました。ご容赦ください。



鎮守の森と根添城跡

「ご要望をお聞かせいただければ幸いです。」

坪沼八幡神社社報

奉祝 天皇家陛下ご即位二十年



お神輿出発前の子どもたち

ご挨拶

坪沼の郷も日に日に色濃く緑に覆われ、野山は若々しい生命力に満ちあふれ、夏本番を前に美しい季節となりました。

そのような中、突如として起こった大地震のつめ後には驚愕致しました。

被災された皆様にお見舞い申し上げますとともに、一日も早い平安を祈る次第です。幸い坪沼では被害が少なかったようですが、近い将来やってくるであろう大地震に皆さんのご家庭においても万全の備えをしていただきますようお願い申し上げます。

神社においては、一昨年お屋根を銅板に葺き替えて頂いたお蔭もあり、今回は全く影響がありませんでしたので、ご休心下さい。

この度の大地震には、恵みを生む母なる大地の優しさとは異なり、恐ろしい計り知れない力をまざまざと見せつけられ、大自らの営みの中では、人の力がどれだけ無力かということを感じました。しかしすぐに復旧に向けて歩み始めた

人々の姿を見るにつけ心強く感じるとともに、私たち日本人はこれまでも幾多の飢饉や災害にも、同胞や共同体という絆で助け合い、様々な苦難も乗り越えて今日まで命を受け継いできたのだとあらためて思いを致しました。様々な災害や問題が生じている今こそ、神社を中心として築いてきた地域社会が果たす役割が大きくなってきたと思います。今の世の中、あまりにも科学文明が進んで人間は何でも出来るのではと錯覚に陥りそうになりますが、やはり遠い先祖から受け継いできた自然への畏敬の念や、それを享受する共生の心、平穩への有難さを忘れてはならないと思えます。平素からお守り下さる神々への感謝の心や、御祖神から戴いた尊い命を大切に、使命を果たすよう努めることが大切なのです。



◆ 毎月初一日・十五日をはじめ、

折にふれ、神社をお参りしましょう

神の恵みと祖先の恩とに感謝しましょう

例大祭齋行

四月十五日、例大祭が齋行されました。それに先立ち十二日の土曜日には、午前十時の神幸祭に続き、勇壮な神輿渡御が行われ、根添区の担ぎ番で、氏子全区域を巡り午後七時お山入りとなりました。子供みこしも坪沼小学校まで同行し元氣よくまわりました。各御旅所では、祭囃子が演奏され、地域の皆さんや、里帰りされた産子さんたちが集まり、お神輿を迎えました。小学生の巫女さんたちも春休みに練習してきた浦安の舞を各所で、一生懸命舞いました。このように今年の神輿渡御は大勢の供奉する人たちの協力で、伝統のままに滞りなく終わりました。境内では神楽殿で御神楽や余興・カラオケ大会、子供くし引き大会など、夜遅くまで賑わっております。



表坂を下る神輿行列

次いで十三日の日曜日は、昨年よりはじめられた講社祭が午前十一時より執り行われました。例大祭は公であるのに対し、いわば個々の祭儀であります。氏子関係各位をはじめ遠近より大勢の崇敬者が集い盛大に齋行され、終わってより敬神婦人部の協力を得て直会が行われました。午後よりは、神賑行事が行われ、生出剣聖会による少年少女剣道大会、続いて協力会企画運営により演芸大会がおこなわれました。今回は東北大生によりサークル活動の発表の場として、落語や奇術が披露され、花を添えました。続いて保存会と坪小の子供たちにより祭囃子が演奏されました。また昨年引き続きビクター所属の加藤八郎氏とそのお弟子さんの桜恵美子さん、銀杏町カラオケクラブの皆さんによる歌謡舞踊ショーが行われました。カラオケ大会では地元の方々自慢ののどを披露、最後は福引大会となり豪華景品を目当てに大勢集まり盛り上がりました。

両日とも協力会のメンバーが模擬店を出店し、縁日を盛り上げました。今年小学校のPTAの皆さんも子供たちが喜ぶお店を出し、盛況でした。

あいにくと四月とは思えない冷え込みで鑑賞する方々も大変でしたが、最後まで楽しいお祭りを満喫されておられました。例大祭は、年に一回行われる坪沼地域一番の行事として、総代若長をはじめ関係各位また多くの氏子崇敬者のご奉仕により滞りなく終了致しました。

例大祭協賛企業御芳名(順不同)

- 鳴原基礎殿
- 仙台カナワホーム殿
- 阿部善産業殿
- 大青工業殿
- ひろせ川交通殿
- 大沼建築殿
- 菅原工業殿
- 佐藤建業殿
- 友和電設殿
- 菅野電気管理事務所殿
- J A 生出支店殿
- カンノ工業殿
- 心布乃里殿
- 後藤牧場殿
- 茂庭荘殿
- 石川宮板殿
- ミフジ不動産殿



演芸大会



剣道大会

行事報告

- 元日祭齋行 一月一日
新年の家内安全合同祈願祭
- どんと祭齋行 一月十五日
正月飾りのお焚き上げ
- 節分祭齋行 二月三日
悪災除・追儺の豆まき
- 建国祭齋行 二月十一日
建国の古を偲ぶ祝祭、県民大会参加
- 祈年祭齋行 二月二十四日
五穀豊穡を祈る大祭

ご奉納(順不同・敬称略・四号以降)

神幕 今野長市・よし子

佐藤善雄・久子、佐藤みさ子

献木・献花 菅原卓司・小林恵壽
佐藤レイ子・小林久男

榊や桜、つじなど奉納をお願いしておりましたところ、新たに庭先の花木などを移植していただきました。季節ごとにきれいな花が咲き誇る境内にしていまいりたいと思います。今後は更に表坂階段脇へあじさいの植栽も考案中ですので、何卒御奉納をお願い申し上げます。

■寄贈本 「親子で学ぶ偉人伝 巻二」
その他にも無料で貸し出してあります。

境内整備事業について

只今駐車場整備を行っております。それにあたっては、総代若長・協力会員や有志の皆さんにより土木工事やら砂利運搬、コンクリート化がご奉仕で行われました。



駐車場整備

特別協力(敬称略・順不同)

阿部善産業、鳴原基礎、友和電設、佐藤甚太郎、佐藤多喜雄、小林昌幸

協力会だより

三月二十三日社務所前の崖に生い茂る竹を伐採しました。総勢三十名で奇麗に刈って頂きました。



竹伐採模様

例大祭には模擬店や演芸大会の運営にあたり、幾度も会合を重ねて企画し、準備からはじまり駐車場整理や片付けまで全般的に取り仕切っていただきました。模擬店の食券については氏子の皆さんにも売り上げに協力戴きました。

婦人部だより

四月十日例大祭を前に、恒例の清掃奉仕が行われました。菅野会長はじめ会員の奥様方三十人以上が集まり、また総代さんたちも一緒に参加し、ときおり小雨の降る中、お宮や境内、社務所に至るまできれいにしていただきました。終わってからは社務所にて和やかに茶話会が行われました。また総会においては役員改選があり菅野としい会長が留任、他の役職の方も決まりました。また佐藤さき子さんが神社庁仙台支部より功労者として表彰されました。



婦人部茶話会の模様

カラオケクラブ会員募集中
例大祭の歌謡ショーでおなじみのビクター加藤八郎先生に、毎月第一・三木曜予定の二回、午後七時からご指導をいただいております。楽しみながら、ストレス発散にもなり歌も上手になりますので、健康のためにも入会してみませんか？月謝二千元で、現在十名ほどが参加しております。